

ご挨拶

この度、第18回日本先進糖尿病治療研究会を第16回1型糖尿病研究会と合同で開催させていただきますこと、心より御礼申し上げます。

今回のテーマは「Technology と Science の融合」です。このテーマは、両研究会の合同開催に際し、今後の両研究会の連携が発展することを願い、第16回1型糖尿病研究会の会長である今川彰久先生と決めさせていただきました。Technology の要素と Science の要素が融合するよう、プログラムも基本的に一本化し、すべての演題を参加者全員で聴講しディスカッションできる場にさせていただきました。

先進糖尿病治療研究会は、先進的な治療に取り組んでこられた医療関係者、並びに患者さんも含めて、発展してきた会です。1型糖尿病研究会との合同開催を契機に、さらなる発展を目指し、第16回1型糖尿病研究会の会長である今川彰久先生や両研究会の世話人の先生方と会を企画いたしました。進化しているインスリンポンプやSAP療法も含んだ1型糖尿病に関する臨床的な演題の他、CGM、人工膵臓などを扱った先進的な検査や治療に関する演題、1型糖尿病に関する基礎的な演題、さらに基礎研究と臨床をつなぐ演題を多数応募いただきました。また同趣旨のシンポジウム、特別講演を数多く企画いたしました。さらに、患者さんへの情報発信の場として、市民公開講座も企画いたしました。

また新たな試みとして、本合同開催の参加者が、気軽にディスカッションし、コミュニケーションできる場として、全ての演題について口演に加えポスター展示も行うことといたしました。さらに、今後の先進糖尿病治療、1型糖尿病診療・研究を担っていく若手の発表者に対するトラベルグラントを準備いたしました。本会を通じて、先進糖尿病治療、1型糖尿病臨床・研究に興味をもつ、医療関係者、研究者が交流し、臨床・研究が発展することを期待しております。

会場の神戸は、世界に開かれた港町として発展してきた街です。この神戸の地で、本会が、先進糖尿病治療の推進と普及、1型糖尿病の研究と臨床の発展に貢献できることを祈念しております。

第18回日本先進糖尿病治療研究会

当番世話人 廣田 勇士

(神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

この度、第16回1型糖尿病研究会を第18回日本先進糖尿病治療研究会と合同で開催させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

両研究会の合同開催は初めての試みであり、それ自体が今回の1型糖尿病研究会の最大の特色です。両研究会の連携の意味をこめて、会のテーマとして「Technology と Science の融合」を掲げました。また、プログラムは基本的に一本化し、すべての演題にアクセスできるようにいたしました。

日本における1型糖尿病の研究、臨床に従事する研究者、医師は残念ながら、潤沢ではありません。特に基礎的な分野の従事者が非常に少なくなっているのが現状です。そこで今回はできるだけ多くの1型糖尿病に従事する方々が興味をもって集まれる会にしたいと思い、日本先進糖尿病治療研究会当番世話人の廣田勇士先生や両研究会の世話人の先生と会を企画しました。日頃はあまり縁がないと思っている少し基礎的な、研究的な演題でも、聞いていただくときっと興味あるものであると確信しています。特に、基礎研究と臨床をつなぐ多くの一般演題をご応募いただきましたし、同趣旨のシンポジウム、特別講演を数多く企画いたしました。

次に、若手研究者の発表をサポートしたいと考え、初の試みとしてトラベルグラントを準備いたしました。未来の1型糖尿病研究や臨床を担う、若手の活躍に大いに期待したいと思います。

会場の神戸(兵庫)は、第1回1型糖尿病研究会や8th Immunology of Diabetes Society Meetingが開催された、日本の1型糖尿病研究と縁の深いところです。この地に会し、今後の1型糖尿病研究・臨床の新たな礎となる会にしたいと思います。

どうぞ最後までご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第16回1型糖尿病研究会

会長 今川 彰久

(大阪医科大学 内科学I)